



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月4日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
コード番号 6809 URL <https://www.toa-global.com/ja>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 方啓
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	11,179	1.8	363	—	431	314.4	20	—
2025年3月期第1四半期	10,979	9.3	△91	—	104	△38.7	△112	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △1,130百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 1,075百万円 (△10.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	0.68	—
2025年3月期第1四半期	△3.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	65,685	50,681	72.7
2025年3月期	68,630	52,586	72.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 47,744百万円 2025年3月期 49,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	20.00	—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期配当金の内訳 安定配当40円

2026年3月期配当金(予想)につきましては、2025年5月2日に「2025年3月期決算短信」にて公表したとおり、連結配当性向45%を目安として、安定配当40円に業績連動配当2円を加え、年間42円としております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	7.7	4,500	25.4	4,700	19.9	2,750	16.3	91.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	34,136,635株	2025年3月期	34,136,635株
2026年3月期1Q	4,066,689株	2025年3月期	4,066,689株
2026年3月期1Q	30,069,946株	2025年3月期1Q	30,056,337株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。
- ・決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善など国内景気は回復傾向が見られるものの、原材料価格の高止まりや物価の上昇、不安定な国際情勢による地政学的リスクに加え、米国政権による経済政策の動向や為替相場の急速な変動など、世界経済は先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」の実現に向け、2030年を見据えた経営ビジョンとして、「Dr. Sound —社会の音を良くするプロフェッショナル集団—になる」を掲げております。お客さまに選ばれる良い音体験の継続的提供を通じ、社会課題の特定、解決、改善の一連のサイクルをお客さまと共に実現してゆく頼れるパートナーとして、人々の安心・信頼・感動の価値実現を目指しております。

当第1四半期連結累計期間では、2025年4月に開幕した大阪・関西万博において、会場内の放送設備をネットワークで結び、屋外のみならずパビリオンやイベント会場などの各施設に設置された放送設備とも連携し、必要な情報を必要なタイミングで届けられるネットワーク統合型放送システムを実装いたしました。今回実装したシステムでは、緊急性の高い情報の優先放送や火災時の混乱に配慮した避難放送、会場内の放送設備の異常監視を実現しております。また、ネットワーク対応スピーカーを活用することで、音環境を自在にデザインし必要な場所に必要な音だけを届けることが可能なため、エリアごと・時間ごとに会場と調和するサウンドスケープや会場を一つにするドローンショーなどの大阪・関西万博の会場を彩る空間演出にも貢献しております。当社は会場全体を「未来の街」と捉え、今回の取組みを通じて、新たな情報伝達とコミュニケーションの姿を創造・発信し、未来社会に実装していくチャレンジを進めてまいります。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間における売上高は11,179百万円（前年同四半期比+199百万円、1.8%増）となりました。利益については、収益性の改善により、営業利益は363百万円（前年同四半期比+455百万円）、経常利益は431百万円（前年同四半期比+327百万円、314.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20百万円（前年同四半期比+133百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、報告セグメントの算定方法を当第1四半期連結会計期間より変更いたしました。この変更に伴い、前第1四半期連結累計期間の数値を変更後の算定方法により比較算出しております。詳細については、後述の【セグメント情報】に記載しております。

(日本)

売上高は5,499百万円（前年同四半期比△131百万円、2.3%減）、セグメント利益（営業利益）は267百万円（前年同四半期比+311百万円）となりました。

オフィスビルや商業施設向けの納入が進んだものの、道路や鉄道などの交通市場向けの売上が減少したことなどにより、セグメント全体での売上高は減少しました。売上高は減少しましたが、収益性の改善によりセグメント利益は増加しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は2,894百万円（前年同四半期比△42百万円、1.5%減）、セグメント利益（営業利益）は486百万円（前年同四半期比+3百万円、0.7%増）となりました。

インドネシアでは首都移転に伴う官公庁向けの納入が進み、タイでは高速道路、マレーシアでは空港向けの納入が進みましたが、ベトナムでは前年同四半期に大型都市開発プロジェクトへの納入があった反動により、売上高は減少し、セグメント全体の売上高は減少しました。売上高は減少しましたが、収益性の改善によりセグメント利益は増加しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は1,709百万円（前年同四半期比+332百万円、24.1%増）、セグメント利益（営業利益）は140百万円（前年同四半期比+127百万円、953.6%増）となりました。

中東では市況の回復やラマダン需要の取り込みなどにより売上が伸長しました。また、オランダのPA-Vox Holding B.V. 及びその傘下の事業会社3社を2024年9月に連結子会社化したことなどにより、セグメント全体の売上高は増加しました。売上高の増加により、セグメント利益は増加しました。

(アメリカ)

売上高は649百万円（前年同四半期比+14百万円、2.3%増）、セグメント利益（営業利益）は65百万円（前年同四半期比+51百万円、373.5%増）となりました。

アメリカでは市況の停滞により売上は減少しましたが、カナダで教育市場や鉄道施設向けの納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は427百万円（前年同四半期比+27百万円、6.8%増）、セグメント利益（営業利益）は41百万円（前年同四半期比+40百万円）となりました。

中国では空港向けの納入が進みましたが、不動産不況による販売の低迷もあり売上は減少しました。台湾で工場向けの納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は65,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,945百万円の減少となりました。資産の部は、棚卸資産の増加などありましたが、現金及び預金や売上債権の減少などにより減少しました。負債及び純資産の部は、仕入債務の増加などありましたが、為替換算調整勘定の減少や配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金の減少などにより減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予想につきましては、「2025年3月期決算短信」で公表しております当初予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,966	17,613
受取手形、売掛金及び契約資産	10,609	8,417
商品及び製品	8,696	9,489
仕掛品	933	1,044
原材料及び貯蔵品	5,057	5,103
その他	1,073	1,761
貸倒引当金	△87	△71
流動資産合計	45,249	43,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,679	5,625
その他	4,906	4,601
有形固定資産合計	10,586	10,226
無形固定資産		
のれん	850	782
その他	1,478	1,401
無形固定資産合計	2,329	2,183
投資その他の資産		
投資有価証券	9,004	8,493
その他	1,461	1,423
投資その他の資産合計	10,465	9,917
固定資産合計	23,381	22,327
資産合計	68,630	65,685
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,953	4,102
短期借入金	1,758	1,456
未払法人税等	548	399
引当金	338	305
その他	3,364	2,942
流動負債合計	9,964	9,206
固定負債		
退職給付に係る負債	3,113	3,121
その他	2,966	2,676
固定負債合計	6,079	5,797
負債合計	16,043	15,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	5,051	5,051
利益剰余金	34,025	33,445
自己株式	△3,666	△3,666
株主資本合計	40,690	40,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,320	4,970
為替換算調整勘定	3,663	2,818
退職給付に係る調整累計額	△165	△154
その他の包括利益累計額合計	8,818	7,634
非支配株主持分	3,077	2,937
純資産合計	52,586	50,681
負債純資産合計	68,630	65,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	10,979	11,179
売上原価	6,587	6,069
売上総利益	4,392	5,110
販売費及び一般管理費	4,484	4,746
営業利益又は営業損失(△)	△91	363
営業外収益		
受取利息	36	27
受取配当金	69	96
為替差益	100	—
持分法による投資利益	—	3
その他	22	47
営業外収益合計	228	174
営業外費用		
支払利息	23	16
為替差損	—	86
持分法による投資損失	1	—
その他	8	3
営業外費用合計	32	106
経常利益	104	431
税金等調整前四半期純利益	104	431
法人税等	142	270
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38	160
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	140
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△112	20

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38	160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	△349
為替換算調整勘定	1,030	△953
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
退職給付に係る調整額	2	12
その他の包括利益合計	1,113	△1,291
四半期包括利益	1,075	△1,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	776	△1,163
非支配株主に係る四半期包括利益	299	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	400百万円	446百万円
のれんの償却額	11百万円	34百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,630	2,937	1,377	634	399	10,979	—	10,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,193	27	3	4	7	1,236	△1,236	—
計	6,823	2,964	1,380	639	407	12,216	△1,236	10,979
セグメント利益又は 損失(△)	△43	482	13	13	1	467	△559	△91

(注) 1. セグメント利益の調整額△559百万円には、セグメント間取引消去66百万円及び各報告セグメントに配分して
いない全社費用△626百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理
部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,499	2,894	1,709	649	427	11,179	—	11,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,235	31	5	3	7	1,284	△1,284	—
計	6,734	2,925	1,715	653	434	12,464	△1,284	11,179
セグメント利益	267	486	140	65	41	1,001	△637	363

(注) 1. セグメント利益の調整額△637百万円には、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分して
いない全社費用△663百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理
部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの業績について、より各セグメントの事業活動に即した業績管理
を行うために社内管理方法を見直し、売上原価、販売費及び一般管理費の配分方法を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の算定方法により作成したものを記載
しております。